

◎総合戦略の具体的目標について、KPIの達成状況は以下のとおり。

A：KPI目標値を達成。B：KPI目標値は達成していないが、改善・増加した。C：改善・増加していない。D：計画当初より低下している。

方向性	基本目標	具体的目標	戦略策定時	現在値	実績	傾向	主な取組
Ⅰ) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現	①若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する	就業率（15～34歳） 目標：全国平均を上回る 目標年（年度）：2019年	【2014年】 61.07% (全国62.17%)	【2018年】 64.96% (全国66.36%)	B	➡	・若者安定就職応援事業 ・OSAKIごとフィールド運営事業
		女性の就業率（15歳～） 目標：全国平均を上回る 目標年（年度）：2019年	【2014年】 44.80% (全国47.72%)	【2018年】 48.65% (全国51.55%)	B	➡	・産官学協働女性活躍推進事業 ・女性が輝くOSAKA実現プロジェクト事業
		合計特殊出生率 目標：前年を上回る	【2014年】 1.31	【2018年】 1.35 (概数)	B	➡	・新子育て支援交付金 ・乳児を養育する子育て世帯と地域人材パートナー育成事業 ・子ども施設地域共生応援事業
	②次代の大阪を担う人をつくる	全国学力・学習状況調査における平均正答率 目標：全国水準をめざす	【2015年度】 小：62.3 (全国63.9) 中：61.2 (全国61.9)	【2018年度】 小：58.6 (全国60.1) 中：61.3 (全国62.6)	C	➡	・課題早期発見フォローアップ事業 ・子どもの読書活動環境整備事業 ・グローバルリーダー育成・留学促進事業 ・起業家教育活動促進事業費
		少年非行防止活動ネットワーク構築市町村 目標：全市町村での構築 目標年(年度)：2019年度	【2014年度】 30	【2018年度】 43	A	⬆	・高校内における居場所のプラットフォーム化事業 ・子どもの生活に関する実態調査事業 ・ひとり親家庭等日常生活支援事業 ・ひとり親家庭等生活向上事業 ・府営住宅ストック地域資源化プロジェクト事業
Ⅱ) 人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり	③誰もが健康でいきいきと活躍できるまちをつくる	健康寿命[歳] 目標：平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 目標年(年度)：2023年度	【2010年】 <平均寿命> 男性 78.99 女性 85.93 【2010年】 <健康寿命> 男性 69.39 女性 72.55	【2015年】 <平均寿命> 男性 80.23 女性 86.73 【2016年】 <健康寿命> 男性 71.50 女性 74.46	A	⬆	・大阪府市医療戦略推進事業 ・健康寿命延伸プロジェクト
		府内民間企業の障がい者実雇用率[%] 目標：2.0以上【～2017年度】 2.2以上【2018年度～】	【2015年度】 1.84	【2018年度】 2.01	B	➡	・地域維持管理連携プラットフォーム支援事業
	④安全・安心なまちをつくる	地震による被害予測 目標：限りなくゼロに 目標年(年度)：2024年度	【2013年度】 134,000人 (推定値)	【2018年度】 24,000人 (推定値)	B	➡	・地域維持管理連携支援事業 ・大阪府都市基盤施設維持管理データベース構築事業 ・ランドデザイン推進事業 ・消防団地域防災力強化充実促進事業 ・女性消防団員活動支援事業
		地震時等に著しく危険な密集市街地の面積（地区数） 目標：解消 目標年(年度)：2020年度	【2014年度】 2,248ha (7市11地区)	【2018年度】 1,885ha (7市10地区)	B	➡	
Ⅲ) 東西二極の一端としての社会経済構造の構築	⑤都市としての経済機能を強化する	実質経済成長率[%] 目標：年平均2.0以上	【2013年度】 +0.8	【2016年度】 0.0	B	➡	・おおさかUターン促進事業 ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業 ・高度若年人材還流促進事業
		開業事業所数 目標：年間10,000か所	【2014年度】 8,383	【2018年度】 8,463	B	➡	・次世代がん治療法BNCT地方創生戦略事業 ・大阪版施設園芸新技術普及推進事業 ・大阪産(もん)グローバルブランド化促進事業 ・農と福祉の連携(ハートフルアグリ)促進事業 ・公民戦略連携デスク活動推進 ・オープンイノベーション海外展開支援事業 ・ものづくり中小企業ビジネス環境創出支援事業
	⑥定住魅力・都市魅力を強化する	来阪外国人[万人] 目標：当初650→1,300 (2016.12に改訂) 目標年：2020年	【2014年】 376	【2018年】 1,142 (速報値)	B	➡	・大阪観光局(DMO)運営事業 ・水と光とみどりのまちづくり推進事業 ・Osaka Free Wi-Fi設置促進事業 ・大坂の陣400年天下一祭推進事業 ・水都大阪2015開催事業 ・大阪・光の饗宴(御堂筋イルミネーション)事業
		転出超過率(対東京圏) 目標：前年を下回る	【2014年】 0.126	【2018年】 0.134	D	⬇	

《第1期総合戦略の総括》

- 3つの方向性のもと、6つの基本目標を位置づけ、若い世代や女性の活躍支援や次代を担う人づくり、誰もが活躍できるまちづくり、経済機能や都市魅力の強化などに取り組んできました。
- これらの取組の結果、具体的目標のKPIに改善が見られるなど一定の効果が見られるものの、人口減少・少子高齢化社会への対応にすぐにつながるものではなく、引き続き、PDCAサイクルを通じて、ブラッシュアップを行いながら、取り組むことが必要です。